資料1

令和8年度第１回富谷市総合計画審議会

市政運営報告



TOMIYA
city

令和8年7月29日(水)

『住みたくなるまち日本一」をめざして



住みたくなるまち日本一
に向けた前期基本計画の取組

2026年～2030年

総合計画の構成と期間

基本構想

期間 令和8 (2026) 年度～令和17 (2035) 年度 (10年間)

市のまちづくりの将来像を示し、その実現に向けた基本目標などを定めるとともに、取組の方向性を示す基本計画の指針となるものです。

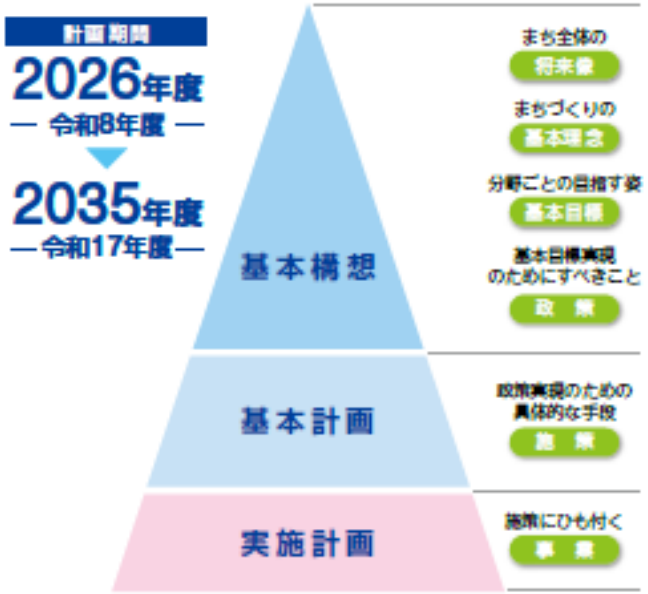
計画期間は、長期的な視点に立ったまちづくりを進めていく必要性から、10年間としています。

基本計画

期間 (前期) 令和 8 (2026) 年度～令和12 (2030) 年度 (5年間)
(後期) 令和13 (2031) 年度～令和17 (2035) 年度 (5年間)

基本構想に掲げる「市の将来像」を実現するための施策体系や施策の方針、成果目標などを定めたもので、個別具体の事業を示す実施計画の指針となるものです。

計画期間は、中期的な観点から達成度を検証し、計画の見直しを含めて基本構想の実現を目指していくものとして、前期計画5年間、後期計画5年間としています。



実施計画

期間 毎年度策定

実施計画は、財政計画との整合性を図りながら、基本計画で示した施策の目的を達成するために必要な事業を具体的に示すものです。

計画の期間は3年とし、毎年、社会経済情勢の変化及び財政状況を勘案しながら策定します。

R8.4 スタート　第2次富谷市総合計画

まちづくりの将来像



これまでのまちづくりの成果を更に高めるため、前計画を継承して、令和８（2026）年度から令和17（2035）年度を計画期間とする「第２次富谷市総合計画」の将来像を“住みたくなるまち日本一　100年間ひとが増え続けるまち”としています。

これからも市民の声を大切にして、市民や地域、企業など、多様なつながりによる「オールとみや」の体制で、『住みたい』・『住んでよかった』と、誰もが思うまちを目指します。

R8.4 スタート　第2次富谷市総合計画

基本理念



市民が想いや誇りを持って様々な活動に生き生きと取り組み、幸福に暮らすには、「市民のために、市民と共に、市民が主役のまちづくり」を行うことが重要です。市民が持つ能力を生かし、その市民力を発揮できる場が数多く存在することで、まちが活力にあふれ、市民はもとより、本市を訪れる人々にとっても魅力的なまちになります。

R8.4 スタート　第2次富谷市総合計画

「市民力の高さ」は富谷市の一番の強み







新たな「市民力」を掘り起こし、育み、発揮へ

本市では、市民活動が活発に行われていることにより、新たな人と人とのつながりが生まれ、多様な主体による協働の取組が広がるなど、まち全体が活気づいており、その「市民力の高さ」は本市の一番の強みになっています。

今後も、新たな「市民力」を掘り起こし、育みながら、市民力が発揮されるよう、行政は環境の整備などに取り組み、市民の皆さんの活動をサポートします。

R8.4 スタート　第2次富谷市総合計画

まちづくりの３本柱

未来につながる持続可能なまちづくりの推進

持続可能なまちづくりとは、限られた環境資源を適切に管理しながら経済活動を維持し、市民・企業・行政が一体となって、災害への強さや多様な人々の共生を実現することで、誰もが将来にわたって安全・快適に暮らし続けられる社会を目指すものです。

緑豊かな自然と魅力ある都市が調和した田園都市の実現

本市は、コンパクトな市域に豊かな自然と整った市街地が共存する『田園都市』として発展してきました。
今後もこの調和を保ちながら、持続可能な田園都市の実現を目指します。

子どもから高齢者まで誰にでもやさしいまちづくりの推進

富谷市は『子どもはまちの宝』という信念のもと、子どもの声を市政に生かす『子どもにやさしいまちづくり』を全庁で推進しています。
また、高齢者や障がい者を含む全市民が支え合い、誰もが幸せに生き生きと暮らせる『誰にでもやさしいまち』を市民と共に目指します。

R8.4 スタート　第2次富谷市総合計画

７つの基本目標

基本目標1
想いを実現できる活力と魅力があふれるまち

基本目標2
快適で住み心地の良さを実感できる田園都市

基本目標3
次代を担う子どもたちをみんなで育むまち

基本目標4
子どもから高齢者まで誰もが普段の暮らしに幸せを感じながら生き生きと暮らせるまち

基本目標5
安全安心で誰もが暮らしやすいまち

基本目標6
未来へつなぐ環境にやさしいまち

基本目標7
協働でつくる持続可能なまち

第2次富谷市総合計画・前期基本計画

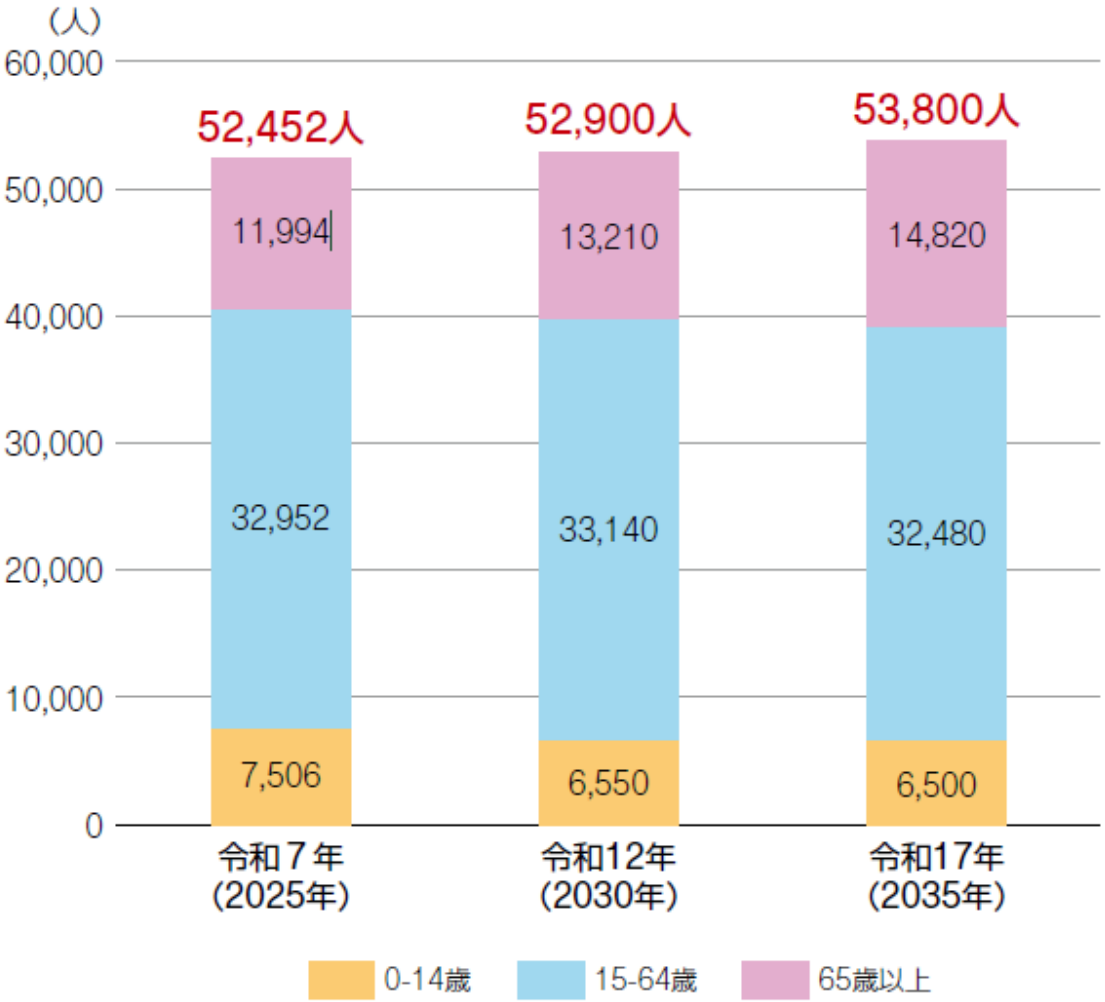
重点施策18

５年間のまちづくりをけん引する18施策を重点化しました。「住みたくなるまち日本一」の実現を目指して、18の重点施策を推進します。

重点施策1 成田二期北工業用地への企業誘致による雇用の創出と地域経済の活性化	重点施策2 富谷塾による起業・創業支援の充実と新たな産業の創出	重点施策3 東北医科薬科大学・富谷メディカルセンター（仮称）の早期立地による地域医療・救急医療の充実
重点施策4 都市型自走式ロープウェイなど新たな軸となる基幹公共交通の整備	重点施策5 杉林から広葉樹への転換を推進する森林再生プロジェクトによる緑豊かな自然環境の保全と活用	重点施策6 田園都市にふさわしい魅力ある住宅地の供給と住みよい居住環境の形成
重点施策7 多様な学びの場づくりによる誰一人取り残さない教育の推進	重点施策8 全小中学校体育館の空調設備整備など良好な教育環境の充実	重点施策9 ユートミヤを拠点とした市民の憩いの場・交流の場づくりの推進
重点施策10 子育ての負担や不安を軽減し妊娠期から切れ目のない子育てにやさしい支援の充実	重点施策11 農福連携などによる障がいのある方の働く場の確保	重点施策12 生活支援や見守りなど高齢者が安心して暮らせる環境整備・心と体の健康づくりの推進
重点施策13 市民協働による大亀山森林公園の魅力向上と豊かな自然の環境整備	重点施策14 ブルーベリー・はちみつ・富谷茶の生産拡大や新たな特産品の創出	重点施策15 脱炭素の実現に向けたオールとみやによる施策の推進
重点施策16 地域や職場などにおける女性活躍・男女共同参画の推進	重点施策17 ふるさと納税の拡充など自立した歳入確保等による健全な行財政運営の推進	重点施策18 行政手続き等のＤＸ化による市民サービスの向上

R8.4 スタート　第2次富谷市総合計画

将来人口・人口フレーム　2060年人口6万人目標



各種施策を展開することで着実な人口増加を目指し、まちづくりの将来像として掲げる「住みたくなるまち日本一～100年間ひとが増え続けるまち～」を実現するため、令和42（2060）年の目標人口を60,000人と設定します。
人口フレームは、本総合計画施行５年後にあたる令和12年の目標人口を「52,900人」、10年後にあたる令和17年の目標人口を「53,800人」と設定し、前期計画の５年間で約450人、後期計画の５年間で約900人の人口増加を目指します。



住みたくなるまち日本一
に向けた各種取組

R8.3～R8.7

新たな富谷のシンボル・ユートミヤ完成

市民図書館、とみのわパーク、スイーツステーションの融合施設

5/1
グランド
オープン









Tomiya city

ユートミヤ・市民図書館

知識、情報、文化にアクセスし、人がつながる知の広場を目指します



スタッフ常駐時間

- **水・木・金曜日　　9時～19時**
- **土・日曜日、祝日　9時～18時**

※月・火、祝日の翌日、館内整理日(月1日)はセルフサービス開館



本や雑誌に囲まれたメディアラウンジとブックスロープ、児童書や絵本のあるこども図書館、10代向けのティーンズコーナー、ものづくりができるメイカースペースなどのエリアがあります。

ユートミヤ・とみのわパーク

とみのわひろば、ふわふわドーム、ブルピヨコーナー、そうぞうのおか

- とみのわひろば
  - ☆対象：3～12歳
  - ☆時間：9時～18時
    - ※ネット遊具は小学生対象
    - ※平日の一部時間帯は0～2歳も利用可
- ふわふわドーム
  - ☆対象：3～12歳
  - ☆時間：9時～18時
    - ※年齢区分ごとに利用時間を設定
- ブルピヨコーナー
  - ☆対象：0～5歳
- そうぞうのおか
  - ☆親子向けのイベントを開催









ユートミヤ・スイーツステーション

「CAFE・SHOP・LAB」の3つの機能を備えた、とみやスイーツの発信拠点

文化創造や創業支援、交流を促進し、おいしさと笑顔が広がる「スイーツのまち とみや」の実現を目指します。
CAFEでは、ここでしか味わうことのできないとみやオリジナルのコーヒーやスイーツを提供します。



スイーツカフェ



スイーツショップ

☆営業時間　9時～18時

無休（年末年始と施設閉館時は除く）

☆カフェ運営事業者

㈱キオラガーデン(福島県三春町)

「FLATWHITE COFFEE FACTORY」

新たな富谷のシンボル「ユートミヤ」

市民図書館・とみのわパーク・スイーツステーションの複合施設

ユートミヤは“人がつながり、文化と創造がひろがる学びと交流の拠点”です。



来場者10万人達成(6/20)







「とみやの赤しずく」7/24販売開始！

スイーツステーション内カフェで提供されます

富谷高校生が「内ヶ崎酒造店」の酒粕を使用した「赤酢」を取り入れたオリジナルドリンク「とみやの赤しずく」がスイーツステーション内のカフェで提供されることとなりました。



「とみやの赤しずく」
全国発酵甲子園高校生ピッチコンテスト「サステナビリティ賞」受賞！



酒粕と赤酢



PRｷｬﾗｸﾀｰ
あかっぷ

６次産業化の推進・ブランド力のさらなる強化 17

「とみやブルーベリースイーツフェア」6/25～7/15

富谷産ブルーベリーを使った「とみやスイーツ」が、市内スイーツ店、ベーカリーに並びます。初夏限定の富谷産ブルーベリーをぜひお楽しみください。

・期間　6月25日(木)～7月15日(水)
・会場　市内スイーツ店、ベーカリー14店舗
　　髙橋ブルーベリーつみとり農園





Tomiya city

東北医科薬科大学・富谷ﾒﾃﾞｨｶﾙｾﾝﾀｰ(仮称)の立地へ

学校法人東北医科薬科大学と基本協定を締結

救急・急性期医療を担う総合病院誘致の事業者候補者である学校法人東北医科薬科大学と、病院の開設及び運営に関する具体的事項について、5月26日に基本協定を締結しました。





病院予定地(明石台)

病院用地

- 所在地　明石台十丁目46番地ほか
- 用地面積　約33,350㎡
- 地目　宅地
- 貸付期間　30年間（無償）

東北医科薬科大学・富谷ﾒﾃﾞｨｶﾙｾﾝﾀｰ(仮称)の立地へ

協定締結により事業者候補者から「誘致病院事業者」に位置付け

- 病床数　　開設時140床
- 診療科目　　内科、外科、整形外科、精神科、小児科、
  産婦人科(分娩は本院対応)、眼科、耳鼻咽喉科
- 開院時期　　令和13(2031)年度を目標
- 医療体制等　救急医療(救急告示医療機関の認定取得)、災害医療(災害時医療拠点として市と連携)、健康づくりの拠点及び保健施策等への連携・協力など





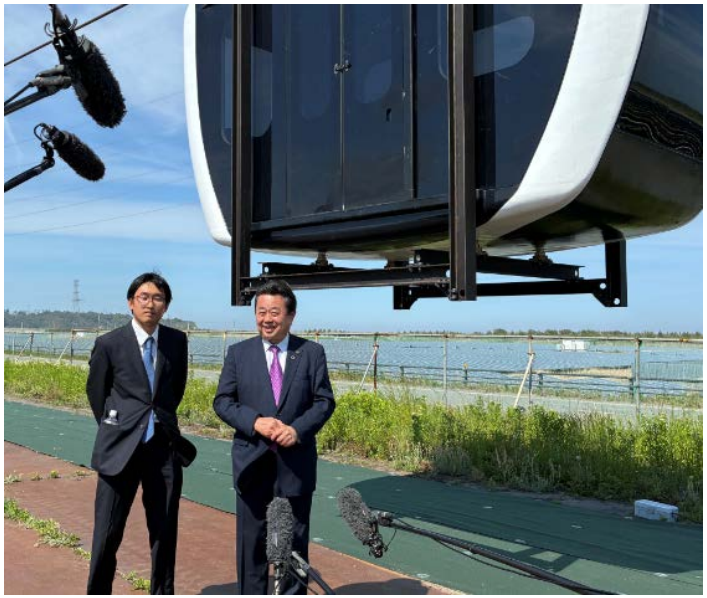
新たな軸となる基幹公共交通の整備

都市型自走式ロープウェイZippar　市長が福島試験線を試乗

- 仙台市泉中央駅までの新たな基幹公共交通の整備検討を進めるため「Zippar」の導入について調査研究を進めています。
- 開発企業であるZip Infrastructure(ジップ インフラストラクチャー)社が整備した模擬軌道「福島試験線」のレール部とロープ部 約120メートルを市長が試乗(6/1)。
- 2本のロープによる安定性、動力がEVならでの静粛性、良好な乗り心地等を確かめました。



福島試験線（提供：Zip Infrastructure㈱）



4/1～　市民バス再編・ダイヤ改正

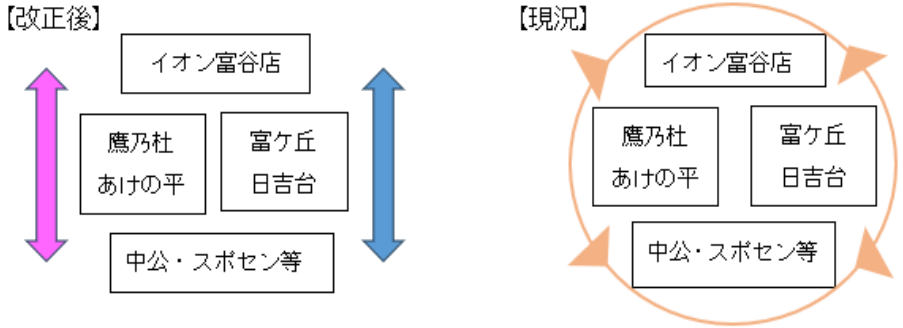
アンケート・利用実績を踏まえ、より利用しやすく改正

①路線名をわかりやすく変更！

現行	改正後
南部循環線	市役所東向陽台線
南部循環線（イオン循環便）	東向陽台成田線
西部循環線	日吉台あけの平循環線
西部循環線（イオン循環便）	あけの平鷹乃杜線 日吉台富ケ丘線

運行する地域を路線名に入れて、行き先が一目でわかるように改善しました。

②西部循環線を上下運行に変更！



目的地までの遠回りを減らし乗車時間を短縮。

③ユートミヤ行きを充実！

現在23回→改正後**44回**（発着回数）



「ユートミヤ」行きを、約２倍に増やしました。

④イオン富谷店の発着回数の増

現在42回→改正後**44回**

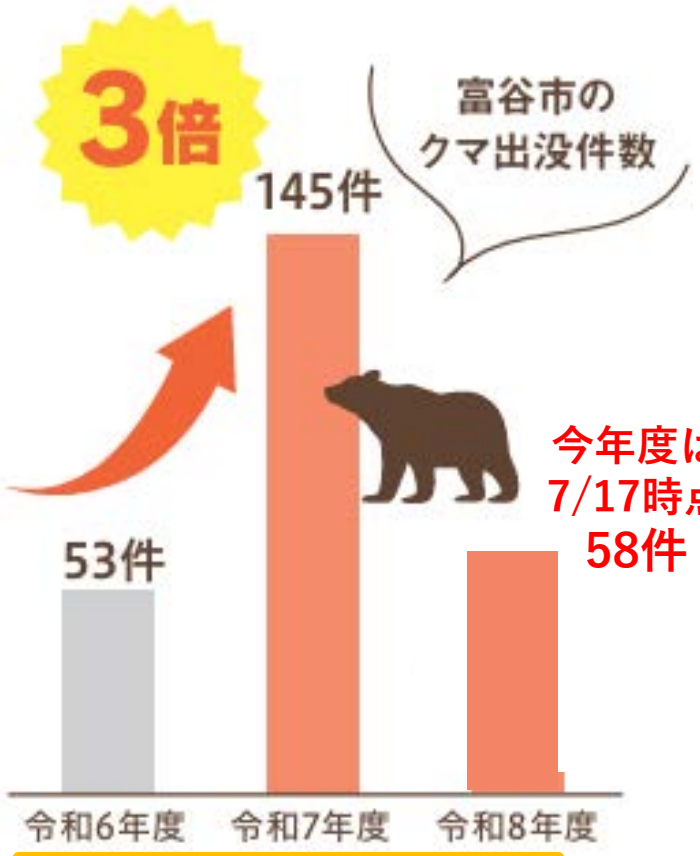
太子堂地区から乗り換えなしで、イオン富谷店へ行けるよう改善しました。



Tomiya city

クマ対策を継続中

クマに十分にご注意ください（7/18から県内の「クマ出没警報」を「注意報」に引き下げました。）



クマの捕獲・駆除件数

令和7年度…9頭
令和8年度…2頭
(7月17日現在)

4月からの目撃情報(7月17日現在…58件)

本市の主なクマ対策

- 誘因樹木の伐採（柿、栗など）
- 箱ワナ設置の強化
- （新たに4基追加し6基体制）
- 公共緑地・河川敷の刈払い
- 全小中学校の児童と生徒へクマ鈴配布
- 資機材の配備
- クマ出没地域の見守り強化
- 情報発信の強化

（安全安心メール、LINEによる配信など）

※広報とみや6月号で特集記事

魅力発信を続ける観光交流拠点・とみやど



来場者90万人達成！

令和3年のオープン以来、多くの来場者に利用され、観光交流拠点として定着しています。

【とみやど来場者経過】

令和3年　5月15日　とみやどオープン
令和6年　3月24日　来場者 50 万人
令和8年　5月15日　**来場者 90万人**

オープンから5周年を迎えました

来場者の皆様への感謝を込めて、記念祭を実施。多くの方にお越しいただきました。

今後も、本市の観光と交流の拠点として魅力あふれる企画運営を行ってまいります。



富谷市子どもにやさしいまちづくり条例

「子どもにやさしいまちづくり」推進中

- 平成30年から全庁を挙げて推進してきた「子どもにやさしいまちづくり」の取組。
- 市民の皆様や地域全体へより一層浸透させることを目指し、「富谷市子どもにやさしいまちづくり条例」を、令和8年第1回富谷市議会定例会へ上程し制定されました。（4/1施行）
- 本条例をもとに、子どもにやさしいまちづくりを推進。

条例の概要　条文27条で構成

第１章　総則
第２章　こどもの権利の推進
第３章　子どもにやさしいまちづくりの推進
第４章　子どもにやさしいまちづくりを推進するための取組
第５章　子どもにやさしいまちづくりに関する施策の推進
第６章　雑則

基本理念　※第3条関係

(1)こどもが大切に育てられ健やかに成長できること
(2)こどもが安心安全に暮らすことができること
(3)こどもが友だちと交流し、楽しく遊び学べること
(4)こどもが地域社会の絆の中で役割を持ち、活き活きと参加できること
(5)こどもの意見を聴き、まちづくりに活かすこと

県内初・全小中学校の水泳学習を民間委託へ移行

- 令和8年度より、全小中学校の水泳学習を民間へ委託。民間事業者が運営する屋内プールで水泳学習を実施するもの。（全小中学校の民間委託は県内初）

  ※令和７年度に東向陽台小学校において実証。

- 民間委託により、天候・季節に左右されず、年間通じて計画的な実施が可能。専門の指導者による、水泳学習の充実を図ります。





ネイチャーポジティブ・自然再興を推進

富谷の豊かな自然環境を未来へ　令和8年3月ネイチャーポジティブ宣言





自然環境の保全に向けた取り組みを更に加速し、将来にわたって、安全安心に暮らすことのできる豊かな自然環境を未来に引き継いでいくため、自然再興を目指す「ネイチャーポジティブ宣言」を令和8年3月に実施しました。

森林から広葉樹への転換を推進する「森林再生プロジェクト事業」の実施や「ビオトープ整備」などにより、生物多様性の維持・回復するための事業を進めます。

森林再生プロジェクト・大亀山森林公園魅力向上・活性化

森林再生プロジェクト

杉林を広葉樹に樹種を転換する森林整備を行うもので、令和８年度より市有林から実施。大亀山森林公園より展開し、環境教育や自然とのふれあいの場としての活用、脱炭素社会に向けた取組を推進します。

伐採した杉の活用や、ヤマザクラなど広葉樹の植栽によるミツバチの蜜源となる「ミツバチの里山づくり」に寄与し、森林環境の保全に取り組みます。





大亀山森林公園魅力向上・活性化

大亀山森林公園活性化実証事業としてNPO法人に委託し、年間を通じてのイベント開催と園内の管理業務を一体的に行い、利用者へのサービス向上と大亀山森林公園の更なる魅力創出を図ります。

市民の活動拠点・市民センター　4/1運営スタート

全公民館を市民センター化　まちの新たな交流の場へ

市民センターは、 世代を超えて人が集い、 地域の知恵や経験を共有しながら、そこで得られた学習成果を生かして、より良いまちづくりを進めていくまちの交流拠点です。

人と人、 地域と地域をつなぐ架け橋として市民センターを活用し、 未来へつながる地域づくりを目指します。

各公民館の名称は市民センターへ

富谷中央公民館	→	富谷中央市民センター
富ケ丘公民館	→	富ケ丘市民センター
東向陽台公民館	→	東向陽台市民センター
あけの平公民館	→	あけの平市民センター
日吉台公民館	→	日吉台市民センター
成田公民館	→	成田市民センター

市民センターで利用可能なこと

企業・団体・個人が、

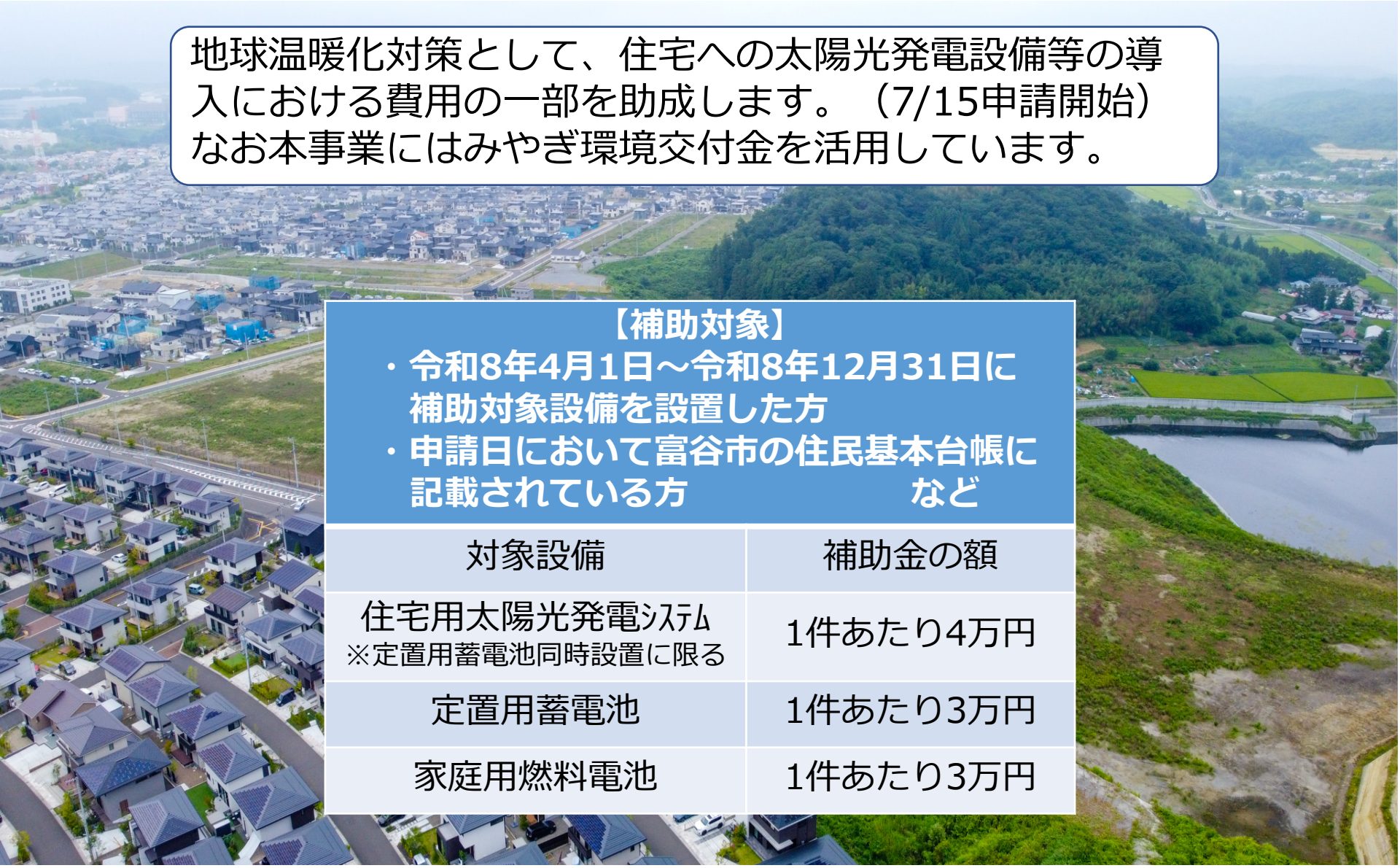
- 参加費・受講料等を徴収して行う地域貢献事業（コンサート等）、生涯学習に関する各種講座・教室
- 物品、不動産等の販売、買取、商談等を主たる目的としたものではない事業
- 地域振興に寄与する活動（同業者組合、商工会、商店連盟等のイベント等）
- 地域振興等を目的とした地場産品、地産地消商品の展示販売
- 地域住民の交流に寄与するフリーマーケット等のイベント

施設予約が変わって使いやすくなりました

- 予約が午前・午後・夜間３パターンから１時間ごと可能に！
- これまで1カ月前からだった予約の開始が、３カ月前から可能に！

令和8年度富谷市太陽光発電等設置支援補助金

地球温暖化対策として、住宅への太陽光発電設備等の導入における費用の一部を助成します。（7/15申請開始）
なお本事業にはみやぎ環境交付金を活用しています。



【補助対象】

- **令和8年4月1日～令和8年12月31日に補助対象設備を設置した方**
- **申請日において富谷市の住民基本台帳に記載されている方　など**

対象設備	補助金の額
住宅用太陽光発電ｼｽﾃﾑ ※定置用蓄電池同時設置に限る	1件あたり4万円
定置用蓄電池	1件あたり3万円
家庭用燃料電池	1件あたり3万円

令和７年国勢調査速報値

人口は前回調査比でプラス78人、人口増加率0.15は県内１位

昨年10月1日を期日に実施された国勢調査の速報値が、5月29日に総務省統計局より発表されました。



- 人口　**51,729人**（前回調査比+78人）

  増加率0.15%（県内一）

- 世帯数　19,443世帯(前回調査比+1,042世帯)

  増加率5.66%

行政区長の皆さまには、調査員としてご尽力いただきましたこと、また、調査員の推薦にご協力をいただき、厚く御礼申し上げます。

住民基本台帳人口・世帯(令和8年6月末時点)

人口：52,251人　世帯数：21,083世帯

民間調査による自治体ランキングで高評価

引き続き「住みたくなるまち日本一」を目指します

●住みよさランキング2026(北海道・東北編)
（株式会社東洋経済新報社　R8.6.18発表）

北海道・東北第1位

●街の住みここちランキング2026（大東建託株式会社　R8.7.8発表）

東北第1位・ 7年連続、県内第1位・8年連続

●住み続けたい街ランキング2025　東北第1位・5年連続
（大東建託株式会社　R7.11.19発表）

●街の幸福度ランキング2025　東北第1位・2年連続
（大東建託株式会社　R7.11.19発表）

●SUUMO住み続けたい街ランキング2024
（株式会社リクルート　R6.11.27発表）

住み続けたい街(自治体)ランキング　県内第1位・連続

※隔年で調査を実施しており、現在の手法による調査は２回目。　前回調査：2022年

今年は市制施行10周年



市制施行10周年記念事業

10月10日（土）記念式典・祝賀会、花火



市民の皆様と共に10周年を祝い、希望に満ちた未来と富谷の更なる発展を祈念します。

記念式典・祝賀会

- 開催時間　14：00～
- 会場　富谷スポーツセンター

花火

- 打上時間　18：30　(開始式　18：00～)
- 会場　富谷市役所

10月4日（日）富谷宿「街道まつり」2026



- 時間　10：00～17:00
- 会場　とみやどほか、しんまち一円

令和８年度
6月補正予算と主な取組



令和８年度　６月補正予算の主な事業

●第2子以降の保育料無償化対応

　第2子以降の子どもを持つ家庭の経済的負担を大幅に軽減し、子育て世帯が安心して生活できる環境づくりを更に推進するため、8/1から完全無償化を実施します。(多子カウントの年齢制限・所得制限を撤廃)

●キャッシュレス対応レジ導入及び運用事業(戸籍住基等事務)

　市民課・各出張所において、証明手数料等の支払いを現金だけでなく、クレジットカード、QRコード決済も可能となるよう、キャッシュレス対応レジを導入します。

●市道幹線道路舗装修繕事業 【活用財源　防災・安全社会資本整備総合交付金】

安全で快適な通行環境の確保を目的に、市道穀田大沢線の舗装修繕を実施します。

令和８年度　６月補正予算の主な事業

●新富谷アンダーパス路面冠水検知装置新設工事

（道路交通安全施設整備事業）【活用財源　防災・安全社会資本整備総合交付金】

昨今のゲリラ豪雨等による冠水事故の未然防止を目的に、新富谷アンダーパスに路面冠水検知装置を新たに設置します。

●市道穀田線道路改良事業【活用財源　防災・安全社会資本整備総合交付金】

市道穀田線の未整備区間の進捗を図ります。工事請負費、用地購入、物件補償などの所要額を計上しています。

●給食センターボイラ缶体交換工事(給食センター運営・維持管理事業)

経年劣化によりボイラ缶体2基が破損しており、施設運営に支障が生じないよう交換工事を実施します。

「住みたくなるまち日本一」をめざして



引き続き、市民の幸福と富谷市の発展に向けて、
市政運営に取り組んでまいります。
今後も、ご支援とご協力、よろしくお願いいたします。

富谷市長 若 生 裕 俊
職員一同